

いにしえ  
古の歴史を守り、今、新たな歴史を紡いでいます

先人たちが大切に歴史を  
受け継いできたからこそ、  
今も新たな歴史を  
生み出しているのです。

3枚の帆を持つ伝統舟

さんたんぼ  
三反帆

自動車などの交通手段がない  
ころ、熊野川の急流に負けず、  
旅人や生活物資を運んだのが  
伝統の川舟「三反帆」です。3  
枚の帆を掲げ、風をとらえて進  
む特徴的な川舟です。現在で  
は、川下り体験や遊覧イベント  
などで乗ることができます。

川を悠々と下る  
三反帆を  
動画で見てみよう！



未来へ  
受け継ぐ歴史



熊野神をお祀りしていた  
きねがだにしや  
貴祢谷社

諸国を遍歴（へんれき）した熊野神は初めは新宮に、後にここ貴祢谷にお祀りしました。その後、再び新宮へ還御された様子を再現したのが御船祭といわれています。

### 多くの人に 川舟を体験してもらいたい

熊野川流域で唯一の川舟大工として、御船祭で使用する川舟の製作や、製作した三反帆で川下り体験ツアーを開催しています。ツアー客の嬉しそうな顔を見ると喜びを感じますね。今後、もっと多くの人に川舟を体験してほしいですし、この伝統を引き継いでくれる後継者育成にも努めていきたいですね。



川舟工房・  
熊野川体感塾  
たがみ よしかず  
谷上嘉一  
さん



### 安産の神様として有名 こうのつち 神内神社

自然岩の岩窟をご神体とする神社。「子安の宮」とも呼ばれており、安産の神様としても有名です。



ほうきょういんとう  
宝篋印塔

川と海での安全を祈願 海上の安全と難所である熊野川河口の出入りの無事を祈願して建立されたもので、「海上安全」の文字が刻まれています。

岩窟（がんとく）をご神体とした神社や雄大な自然と建築物の鮮やかなコントラストが目を引くお堂。紀宝町が、古代より、海・山・川の自然の恩恵とともに歴史を紡いできたことが、町内に残る数々の貴重な文化財から伺い知ることができます。

「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成資産を3つも有するといふ、世界的に価値ある土地でもあります。往時を知ることができる貴重な文化財が今もなお多く残されていることは、町にとっては誇りそのものの。そして、この先、新たな歴史を誕生させていく上で大切な源でもあるのです。

また、源平の合戦や南北朝、戦国時代の戦において、海の武士団としてその名をとどろかせた熊野水軍の偉業が史跡などとともに語り継がれています。

さらに、紀宝町は平成16（2004）年に登録された世界遺産



### 白河法皇の 勅願によって建立 ひらおいやくし 平尾井薬師

熊野三仏のひとつに数えられている薬師如来像が祀られており、瑠璃色の瓦葺きの屋根、朱塗りの柱が目を引く薬師堂です。

## 紀宝町の世界遺産



しちりみはま  
七里御浜

熊野古道伊勢路の一部で「浜街道」として、信仰の道としての役割を果たしていました。



みふねしま  
御船島

御船祭では、神幸船の渡御（とぎょ）に合わせて、この島の周りで早船の競漕が行われています。



くまのがわ  
熊野川

かつては熊野三山を結ぶ「川の参詣道」として、また人々の暮らしを支える交通基盤でもありました。



### 日本有数の 生産量を誇る マイヤーレモン

熟すと果皮がオレンジ色  
がかってくるのが特徴。酸  
味が少なくマイルドで、和  
食洋食どちらにもよく合  
います。

実る  
マイヤーレモンを  
動画で見てみよう!



今、紀宝町では一年を通して、  
様々な特産品たちが生まれ育ち  
多くの人に喜びと感動を与えています。

セミノール



不知火

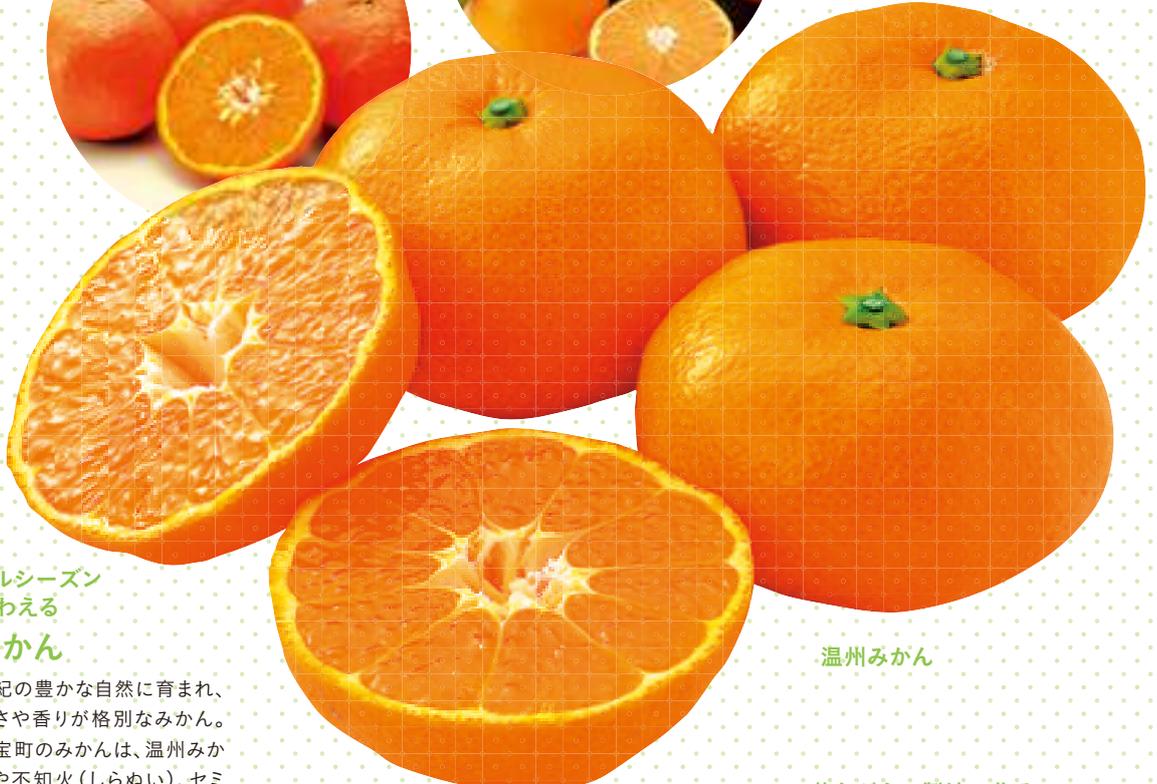


愛情込めて育まれた産物は、まちの宝です

### フルシーズン 味わえる みかん

南紀の豊かな自然に生まれ、  
甘さや香りが格別なみかん。  
紀宝町のみかんは、温州みか  
んや不知火(しらぬい)、セミ  
ノールなど多様な品種があ  
り、フルシーズン味わうこと  
ができます。

温州みかん



### 昔ながらの製法で作る 梅干し

果実は大きく、果肉は厚く柔らか  
い特徴をもつ南高梅。紀宝町  
では、南高梅のほか、紀宝  
町原産の梅「紀の宝」な  
どを栽培しています。



### うまみを凝縮した 釜揚げしらす

しらすは、カルシウム  
や鉄分などの栄養  
価が高いのが特徴  
です。新鮮なしらす  
を釜揚げにして、うま  
みを凝縮させています。



### 豊かな自然の中で育つ 米

レンゲを肥料に栽培した「レ  
ンゲ米」や、12年の歳月をか  
けて誕生した新品種米「結  
びの神」など、多様な品種  
の米を栽培しています。



愛情受けて  
育つ逸品

まちの伝統食として親しまれる  
なれ寿司

「なれ」とは「熟成」の意味を持ち、サンマやアユとご飯を発酵させて作った保存食のお寿司。紀宝町の伝統食として昔から親しまれています。



熊野地方の  
郷土料理  
めはりずし

高菜漬けの葉でご飯をくるんだもので、農作業や山仕事の際に食べるお弁当が起源といわれています。



脂の少ないサンマと酢飯がよく合う  
サンマ寿司

サンマを用いた押し寿司の一種で、熊野地方の伝統食。脂の少ないさっぱりとした身と酢飯の組み合わせは抜群です。



昔ながらの手法に  
こだわった  
天然醸造玄米酢

昔ながらの巨大な木樽を使った製法にこだわり、発酵・長期醸成を経て仕上げた旨味の多い玄米酢です。



粘りと食感が特徴  
なめこ

独自のねばりと歯切れの良さが魅力の珍味として人気があります。

紀宝町だから生まれる  
おいしい農作物

私は現在、梅の生産を行っています。この職業は良いものを作れるだけでなく、多くの人と知り合うことができる魅力ある仕事です。海や山、川といった自然に恵まれた紀宝町だからこそ、おいしい農産物が生まれるのだと思います。今後は、農地をもっと広げて多くの農産物を作りたいですね。



梅生産  
農業者  
すがわ ひろし  
須川広視  
さん

紀伊半島の南東部に位置する紀宝町は、温暖な気候に恵まれているため、様々な産物が誕生し育つ場所です。  
特産の代表格であるみかんは、紀伊半島特有の気候によって、1年中様々な種類を生産・味わえるという特徴があります。そのみかんと並んで人気の特産物が、オレンジとレモンの自然交雑で誕生したといわれる品種「マイヤーレモン」です。サラダやお菓子、飲み物など、ど

んな食べ方もできる抜群の相性が魅力で、町は日本有数の生産量を誇っています。  
もちろん、新しいものだけではなくありません。その土地柄を色濃く表す伝統食が、紀宝町には今も愛され受け継がれています。  
特産品とは、昔から愛情が込められて受け継がれ育まれてきたものであり、特産品が豊富な紀宝町は、それだけ愛情にあふれた土地であるといえるでしょう。

# 紀宝町 10年の軌跡

平成  
18年

- 1月 紀宝町、鵜殿村が合併し新「紀宝町」誕生
- 2月 第1回紀宝町長選挙において西田 健氏当選
- 4月 紀宝町地域包括支援センター設置  
戸籍・住民・印鑑登録などの窓口業務を午後7時まで延長開始

- 5月 新「紀宝町」誕生記念式典を生涯学習センターで開催
- 8月 紀宝町給食センター増改築工事完成(神内)・相野谷小学校校舎耐震補強工事完成
- 9月 「非核平和の町」を宣言
- 10月 諸手船(有形民俗文化財)が三重県指定文化財に指定
- 11月 井田公民館、分庁舎、生涯学習センターを子どもの遊び場に開放



新「紀宝町」誕生式典

平成  
19年

- 1月 第1回紀宝町議会議員選挙15名当選
- 3月 若者の定住化対策として、新築住宅の固定資産税を軽減する条例制定
- 4月 学童保育「きほっこ」開設
- 6月 第1次紀宝町総合計画策定
- 7月 相野谷川排水機場完成

平成  
23年

- 1月 紀宝町合併5周年記念式典を生涯学習センターで開催
- 2月 第2回紀宝町議会議員選挙14名当選
- 2月 鳥インフルエンザ発生
- 4月 鵜殿図書館が子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞
- 5月 移動支所図書貸出サービス事業開始
- 7月 紀南特別養護老人ホーム「亀楽苑」完成(井田)
- 9月 紀伊半島大水害(台風第12号)発生
- 10月 井田保育所建替工事完成
- 11月 高齢者のたまり場を兼ねた福祉の店「アプローチ」オープン



井田保育所建替工事完成

平成  
24年

- 3月 矢洲中学校体育館耐震補強工事完成(鵜殿)
- 4月 井内工業団地に「特定非営利活動法人てとて」を誘致
- 5月 広報きぼうが全国広報コンクール広報紙部門(町村の部)で特選(総務大臣賞)を受賞
- 6月 復興支援イベント「元氣やで!紀宝町」を相野谷小学校で開催
- 7月 悪質商法の被害から高齢者を守る「高齢者地域見守り隊」が発足
- 7月 ファミリーサポートセンター開設
- 11月 石川県中能登町と災害時相互応援協定締結
- 12月 紀宝町食生活改善推進協議会が栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞
- 紀宝町平成23年台風第12号災害 復旧・復興計画策定
- 紀の宝みなと市が始まる(鵜殿港)
- 成川小学校新校舎改築工事完成



成川小学校新校舎改築工事完成

平成  
25年

- 2月 消防団第3分団桐原班消防車庫完成
- 3月 第1次紀宝町総合計画後期基本計画策定
- 4月 津本防災センター完成(大里)
- 5月 子ども医療費助成対象者を15歳年度末(中学3年生)まで拡充
- 5月 復興を祝う記念イベント「元氣やで!紀宝町川丈感謝まつり」を浅里健康増進広場で開催
- 熊野川河口大橋を含む「一般国道42号新宮紀宝道路」が国土交通省の新規事業として着手



紀宝バイパス開通

平成20年

- 1月 町の花に「カンラン」、「スイセン」、「町の木に」ウバメガシ」を指定
- 3月 リサイクルセンター完成(井内)
- 4月 新相野谷診療所完成(井内)
- 5月 町営浄化槽整備推進事業開始
- 6月 児童デイサービス事業「通園めだか」開設
- 7月 本庁舎増築工事完成(鵜殿)
- 9月 「人権尊重の町」を宣言。「紀宝町人権基本方針」を策定
- 10月 J・R 鵜殿駅前駐輪場完成(約130台収容可能)
- 11月 移動支所開設
- 12月 町内の3郵便局で住民票などの発行を開始



リサイクルセンター完成(井内)

平成21年

- 12月 矢渕中学校校舎耐震補強工事完成(鵜殿)
- 11月 「交通安全の町」「暴力追放の町」を宣言
- 2月 消防団第4分団消防車庫・倉庫整備完成(鵜殿)
- 3月 鵜殿地域交流センター完成
- 4月 土地利用一体型水防防災事業(相野谷川輪中堤他)完成
- 5月 戸籍電算化システム稼働開始
- 6月 全国瞬時警報システム(J・ALERT)紀宝町での運用開始
- 8月 紀宝町子育て支援センター開設(神内)
- 9月 後期高齢者健康診査の無料化開始



鵜殿地域交流センター完成

平成22年

- 1月 第2回紀宝町長選挙において西田 健氏再選
- 2月 紀宝町議会議員補欠選挙2名当選
- 3月 生活・介護支援サポーター「てまりの会」が発足
- 4月 子ども医療費助成対象者を12歳年度末(小学6年生)まで拡充
- 5月 成川屋佐兵衛の墓(史跡)、横手地蔵尊(史跡)、徳本上人名号碑と恵比寿像と灯籠(史跡)、平尾井踊り(無形民俗文化財)、飛雪の滝(名勝)を紀宝町指定文化財に指定
- 7月 飯盛保育所建替工事完成(成川)
- 9月 新相野谷トンネル完成

平成26年

- 6月 紀宝バイパス開通
- 7月 浅里地区専用水道施設完成
- 12月 石川県中能登町と姉妹町提携締結
- 1月 消防団第2分団高岡班消防車庫完成
- 2月 高岡防災センター完成
- 3月 防災拠点施設(津波避難ビル)完成(鵜殿)



石川県中能登町と姉妹町提携締結

平成27年

- 11月 深田運動場改修工事完成(大里)
- 12月 第3回紀宝町長選挙において西田 健氏無投票再選
- 1月 自家用給油施設完成(井内)
- 2月 飲料水兼用耐震性貯水槽(6基)完成
- 3月 コンビニ取納サービス開始(税・保育料)
- 4月 コンビニ取納サービス開始(水道料)
- 5月 広報きぼうが全国広報コンクール広報紙部門(町村の部)で特選および内閣総理大臣賞を受賞
- 6月 熊野古道世界遺産登録10周年記念イベント開催
- 7月 「紀宝戦隊カメレンジャー」が町公式キャラクターに就任
- 8月 子ども医療費助成対象者を18歳年度末(高校3年生)まで拡充
- 9月 深田運動場改修工事完成(大里)
- 10月 第3回紀宝町議会議員選挙13名当選
- 11月 台風等風水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)策定
- 12月 津地方気象台、紀勢国道事務所、紀南河川国道事務所と台風等風水害に備えた事前防災行動計画(タイムライン)の連携に関する協定締結



「紀宝戦隊カメレンジャー」が町公式キャラクターに就任

- 1月 成川防災備蓄倉庫完成
- 2月 鵜殿老人憩いの家「讚寿荘」建替工事完成
- 3月 波静橋架替工事完成(鵜殿)
- 4月 熊野川左岸鵜殿高潮堤完成
- 5月 井内工業団地に「パナソニックエコソリューションズ電材三重」を誘致
- 6月 飯盛保育所で0歳児保育を開始
- 7月 井田ほつき踊り(無形民俗文化財)、井田観音像(有形民俗文化財)を紀宝町指定文化財に指定
- 8月 小野橋架替工事完成(桐原)
- 9月 成川小学校・神内小学校 非構造部材耐震改修工事完成



事前防災行動計画(タイムライン)の連携に関する協定を締結

# 第一次紀宝町総合計画 きぼうのまちづくり

将来像

## 海・山・川の恵みに抱かれ、 ともに輝き創造するまち

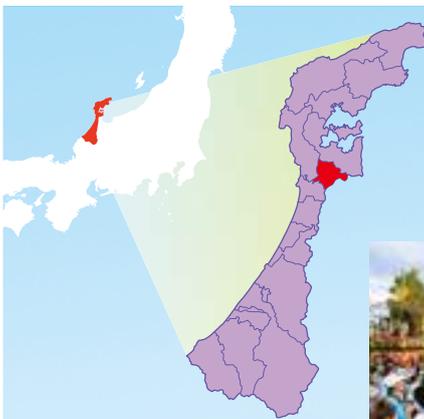
～ 協働による一体感あふれ、  
誇りと愛着の持てるまちづくり ～

第一次紀宝町総合計画は、平成19年度からスタートした計画で、町のめざす未来へと導く大切な指針となるものです。10年前、旧紀宝町・旧鶴殿村合併協議会において策定された「新町まちづくり計画（新町建設計画）」で掲げられた将来像「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」の実現に向け、町民一人ひとりが地域に誇りと愛着を持ちながら、地域の特性を活かし、みんなが主役となるまちづくりに取り組んでいます。現計画の期間が平成28年度までであることから、平成29年度から社会情勢や住民のニーズに対応した新たな計画を策定する予定です。

姉妹町

なかのともち

## 石川県中能登町



総面積 89.45 km<sup>2</sup>

平成26年10月1日現在  
国土交通省国土地理院

人口 18,883人

平成27年4月1日現在  
住民基本台帳



町祭「織姫夏ものがたり」



特産の伝統織物「能登上布」



雨の宮古墳群(1号墳)

中能登町は、石川県の能登半島中部にある町で、平成17年3月に鳥屋町、鹿島町、鹿西町が合併して誕生しました。町の中央には、邑知地溝帯を中心とした平野部が広がっています。東には碓石ヶ峰などの石動山系、西には川田古墳群や国指定史跡の雨の宮古墳群がある眉丈山系の山々が立ち並び、歴史と豊かな自然に育まれた町です。

紀宝町との交流は、平成24年1月に開催された都道府県町村会正副会長会議を契機に始まりました。同年11月に「災害時相互応援協定」を締結し、平成25年12月に「姉妹町提携」を締結しました。今後も相互協力の絆を深め、両町のさらなる発展が期待されます。



中能登町の  
イメージ  
キャラクター  
「おりひめ」

# 紀宝町議会

開かれた議会運営で  
町の意味決定を行います



紀宝町議会は、町民から選挙で選ばれた13名の議員で構成され、条例の制定や改廃、予算の決定、決算の認定のほか、重要な契約の締結などについて町の意志を決定する議決機関です。

提出された議案の審議などを行う「本会議」や、議案を専門的、能率的に審査・調査する「委員会」があります。これらは、町政について重要なことを審議・決定している場でもあるため、一般の方も傍聴することが可能となっています。また、インターネットでの議会中継や議会だよりの発行など、開かれた議会運営に努めています。

きぼう  
の  
たまご



「自然を大切に  
していく心」を  
持ち続けたいと  
思います

まちの大切な  
シンボル  
「ウミガメ」の保護を  
続けていくこと



町のことをもっと  
「勉強」して  
いきたい!

きぼう  
の  
たまご



常日頃からの  
「地域の人との  
絆づくり」が  
大切だと思います

「たくさんの  
イベント」で、  
町を盛り上げて  
いく!

いつも「笑顔」を  
忘れずにいること。  
周りも笑顔に  
なります



きぼう  
の  
たまご



きぼう  
の  
たまご



「町の伝統」を  
次代の子どもたちに  
伝えていきたいです



「町の特産品」は  
絶品ぞろい。  
もっとPRして  
いきたい



＼紀宝町民の／

「紀宝町の平和」を  
守っていくよ！

きぼう  
の  
たまご



# これが私の きぼう の たまご

子どもが  
のびのびと成長できる  
「子育て環境」が  
大事



みんな  
「仲良く」!

きぼう  
の  
たまご



紀宝町民が考える  
「未来の紀宝町」にとって  
大事なものは  
一体どんなものなんでしょう。  
これは、  
紀宝町の未来づくりに欠かせない  
大切なきぼうのたまごです。

# Access



[自動車] 【名古屋方面から】  
熊野尾鷲道路熊野大泊ICから国道42号を新宮方面へ約30分

【大阪方面から】  
阪和自動車道田辺ICから国道311号-168号を新宮方面へ約2時間30分  
または、すさみ南ICから国道42号-那智勝浦新宮道路を新宮方面へ約2時間30分

[鉄道] JR新宮駅までJR名古屋駅またはJR新大阪駅から特急で約3時間30分→JR新宮駅から紀勢本線でJR鷯殿駅

[バス] JR新宮駅から熊野新宮線・大又大久保方面行バスで約10分



## 紀宝町の概要

紀宝町は、平成18(2006)年1月10日、旧紀宝町と旧鷯殿村の合併により誕生しました。  
紀伊半島の南東部に位置し、三重県の南玄関となっています。東は熊野灘に面し、北は御浜町、西は熊野市、南は熊野川を隔てて和歌山県新宮市と接しています。



POST CARD

切手をお貼りください



K I H O



「Dream comes true by yumecame」

紀宝町出身の絵本作家・山本真嗣さん

紀宝町出身で絵本作家・イラストレーターとして活躍する山本真嗣さん。町で、子どもたちを対象にしたワークショップも開催しています。

POST CARD

切手をお貼りください



K I H O



紀宝戦隊カメレンジャー

町の公式キャラクター。高齢者を消費者トラブルから守ること、紀宝町の魅力を広くPRすることを任務に活動しています。

POST CARD

切手をお貼りください



K I H O



さんだんぼ 三反帆

熊野川では、かつて人や物資を運んだ川舟・三反帆が川風を受けて進んでいました。今も川下り体験や遊覧イベントで乗ることができます。

POST CARD

切手をお貼りください



K I H O



井田海岸

熊野灘に面した井田海岸には5月下旬から8月上旬にかけて、アカウミガメが産卵に訪れます。

切り取ってご使用ください





## 発行にあたって

新「紀宝町」が船出し早いもので、平成28年1月10日には、皆様のお力添えのもと町制施行10周年の節目を迎えることができました。

私たちは、水面きらめく太平洋、緑濃い山々、悠久の流れを培ってきた熊野川の大らかさに包まれ、表情あふれる自然と共に郷土愛を育み、お互いを思いやる心を大切に共に歩んできました。

子育て支援の充実、防災・安全対策や健康づくり、学校教育の推進、産業振興の促進など皆様と一緒に蒔いた施策の種は開花し、多くの実を結びました。

今後も、町の未来を託す「命の道」、熊野川河口大橋を含む新宮紀宝道路の早期完成、地域に活力を生み出す「地方創生」など次世代につながるまちづくりに果敢に挑戦します。

本冊子から、町の概要をご理解いただき、大きく躍動する紀宝町の姿を感じていただければ幸いです。

紀宝町長  
西田 健



### 町章

紀宝の「宝」をモチーフに、海・山・川がもたらす恵みの豊かさをイメージしつつ躍動感あふれる曲線のリズムで、人と大自然の共鳴を表現。力強く前進し未来に躍動しようとする紀宝町の活力を象徴しています。



スイセン



カンラン

### 町の花

カンランはラン科の植物で、気品に満ちあふれた美しいふるさと紀宝町を表します。スイセンはヒガンバナ科の植物で、笑顔に満ちあふれた心豊かなふるさと紀宝町を表します。



ウバメガシ

### 町の木

町内各地に自生しているブナ科の常用広葉樹。材質は堅く、力強く繁茂し活力に満ちてたくましく、活気に満ちあふれた元気なふるさと紀宝町を表します。



### 紀宝戦隊カメレンジャー

高齢者を消費者トラブルから守るため、日本に上陸するウミガメをモチーフに誕生したキャラクターです。現在は町の公式キャラクターとして紀宝町の魅力を広くPRする活動もしています。



**三重県  
紀宝町  
町制施行10周年記念  
町勢要覧**

発行年月／平成28(2016)年1月

発行／三重県紀宝町

〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鷺殿324番地

TEL／0735-33-0333 FAX／0735-32-3061

URL／<http://www.town.kiho.lg.jp>

制作／株式会社日本出版